

INTERNSHIP GUIDE

インターンシップガイド



宮崎大学工学部教育改革推進センター

インターンシップとは？

インターンシップとは、在学中に企業や官公庁などの職場で研修生として働き、自らの研究や将来に関連のある就業体験を行える制度です。インターンシップでは、次のような様々な経験ができます。積極的に参加して、自分の適性、可能性を探りましょう。

- ①単に講義等で学ぶだけでなく、実際の現場で実際に働いている方々と共に研究・開発に取り組み、会社の一員として働くことの意味や働くことの喜びを感じ取り、多くのことを学ぶことができる。
- ②学部や大学院の講義で習得した理論を、実践の現場で確認することができ、また、大学での学習目的が明確になる。
- ③社会人としてのマナー、モラルを学ぶことができる。
- ④実際の職場を経験することで、将来の職業選択のミスマッチを減らしたり、方向性を決める一助となる。

教育目的（長期インターンシップ）

一般のインターンシップよりも長い期間にわたって実際の現場における設計や試作等を経験することを通して、その組織の一員として責任を持って計画・行動する態度及び倫理観を養う（**社会性・人間性の教育**）。

また、これまでに学んだ知識を活用するとともに、新たな技術に関しても積極的に修得することで、設定された課題や問題を解決する経験を積む。この経験を通し、課題探求及び解決能力を養う（**専門性の教育**）。



インターンシップの種類

① 工学部・工学研究科インターンシップ（単位：選択1単位）

「インターンシップ」、「工場実習」、「特別実習」、「学外技術研修」等の授業科目名で開講しています。また、企業や各種団体が独自に募集したり、主催・仲介する公募型インターンシップで、大学に募集案内があったものは、学生支援部キャリア支援課や工学部教務・学生支援係で掲示等によりお知らせしています。また、インターネット等（リクナビやマイナビ等の就職サイト等）でも情報も得ることができます。このような情報や指導教員の指示により、各学科・専攻の授業計画のもと実施されます。

② 工学部・工学研究科長期インターンシップ（単位：選択2単位）

授業科目「長期インターンシップ」の“長期”とは、90時間以上の実施時間を指し、工学部教育改革推進センターインターンシップ実施部門が受け入れ企業との間に入り、実施に向け調整を行います。90時間の実施形態は、集中して連日実施する場合、週1～2日で実施する場合など様々ですが、日程については連携企業との教育計画の策定時に決定します。具体的には右上の長期インターンシップのスケジュールを参照してください。

③ その他のインターンシップ

①の学生支援部キャリア支援課や工学部教務・学生支援係でお知らせしている学外公募インターンシップやインターネット等の情報によるインターンシップは、学年に関係なく応募できるものもあり、初年次からのキャリア形成に役立てることができます。授業に支障のない限り、積極的に参加しましょう。



長期インターンシップのスケジュール

7月頃

工学部教育改革推進センターインターンシップ実施部門では、毎年インターンシップ説明会を実施しています。説明会では、インターンシップの意義やインターンシップへ参加する際の注意点などを説明するとともに、長期インターンシップ実施の希望調査を行っています。調査を基に連携企業の課題とのマッチングを行い、受入れ企業を決定します。

8月頃

受入れ企業が確定した段階で、受入れ企業と本学部または研究科との間で、長期インターンシップに関する協定書を締結します。(学生の守秘義務誓約書含む。)

9~1月頃

長期インターンシップの実施



2月頃

長期インターンシップの成果報告会



3月頃

報告会を通して、各指導教員等が評価、最終的な単位認定を行います。

インターンシップ参加に際しての注意点

- **インターンシップ中は健康に注意し、インターンシップ生としてふさわしい行動をとること**
 - ・交通事故に気をつけて、時間に余裕を持って行きましょう。
 - ・挨拶や言葉遣いに注意し、明るい笑顔でコミュニケーションをとりましょう。
 - ・実習先の就業規則を遵守し、遅刻・無断欠勤などは絶対にしないようにしましょう。
- **服装は、企業が指示したものを着用すること**
 - ・周囲の従業員やお客様に不快感を持たれないよう注意しましょう。
 - ・清潔かつ機能的で職場の雰囲気合う身だしなみを心がけましょう。
- **インターンシップ先の企業等の名誉を毀損するような行動はとらないこと**
- **実習上知り得たインターンシップ先の企業等の機密に属するものは、一切漏らさないこと**
- **インターンシップに際して事前指導が行われる場合は、必ず参加すること**
なお、他の講義と重複する場合などは早めに指導教員へ相談すること
- **インターンシップ中は十分注意を払い、事故の防止に努めること**
 - ・「学生教育研究災害傷害保険」、「学研災付帯賠償責任保険」に加入し、内容を確認しておきましょう。
- **その他**
 - ・インターンシップはアルバイトではないため無給です。インターンシップにかかる交通費・宿泊費等も原則として自己負担です。

長期インターンシップ参加者の体験談

杉浦 匡紀 (工学研究科電気電子工学専攻 修士課程2年)

▶インターンシップ先：株式会社東芝 電力システム社

インターンシップは、学生の間だけに参加できる貴重な体験となりました。社会人としてのマナーや生活習慣、企業独自の規則を学んで、働くことについて深く考えるきっかけになりました。昨年、同様に参加したインターンシップでは約2週間の実習でしたが、今回の長期インターンシップの実習は1ヶ月以上にわたり、仕事内容や専門知識をじっくり学ぶことができ満足しました。火力発電所の制御盤は広範囲で数多くの機器と関わっていて、幅広い知識が必要だと感じました。配属部署の雰囲気は和気あいあいと居心地の良い職場でした。社員の方々は私に優しく接してくれて、仕事やプライベートの話をしたり、今後のアドバイスをしてもらえました。

牛島 理博 (工学研究科土木環境工学専攻 修士課程1年)

▶インターンシップ先：株式会社建設環境研究所 九州支社

私の長期インターンシップ先は、道路や河川などの設計を主な業務とする企業でした。実際に企業の仕事を体験する前まで、業務内容のほとんどはパソコンを使ったデスクワークだと思っていました。ところが、実際は現場へ行って調査したり、ワークショップに参加して住民の方と話し合ったりすることが多く、今まで抱いていたイメージを大きく覆されました。また、仕事を行う際、今まで大学の講義で学んだ知識を活かすことができ、うれしさと同時に働くことの楽しさを感じました。さらに、企業の方との意見交換を通じて、今の自分に足りない知識や能力に気づくこともできました。実際に企業の中に入って仕事を体験することでしかわからないこと、気づくことのできないことがたくさんあるので、是非長期インターンシップに参加してみてください。



国立大学法人
宮崎大学

〒889-2192 宮崎市学園木花台西1丁目1番地

お問い合わせ先

宮崎大学工学部教務・学生支援係

TEL: (0985) 58-7979 E-mail: eng-m@of.miyazaki-u.ac.jp